

Ring light – for better photograph
リング・ライト – より良い写真撮影のために
武安義幸 / JA6XKQ

もっと光を！

工作の記録のために写真を撮りますが、内容の性格上、接写が多くなります。接写ではライティングに苦労します。カメラ内蔵のフラッシュでは強い影が出がちです。日中であれば最も手頃で、かつ仕上がりの良い光源は窓際での散乱光です。しかし、夜に机の上で撮影したいことがほとんど、、、 時と場所を選ばずに美しい仕上がりを求めて、接写では常套手段のリング・ライトを作ってみました。



製作

主要な部品は次の通りです。

- 蛍光ランプにはホワイト・バランスを考慮して昼光色(色温度: 6700K)の20形サークルライン
- 安定器(チョーク・コイル)には秋月電子

写真-1 : リング・ライトの外観

通商のキット

- 安定器、グロー・ランプは絶縁不要のタッパーウェアに収納

反射板の工作には軽さと強度の観点からダンボールを使用しています。強度を増すためにダンボールの筋を直交させて二枚を張り合わせています。

ダンボールには光沢のある上質紙(カレンダーの裏側)を貼り、散乱光を得ています。

工作上、次の点を配慮しました。

- 重量のある安定器は三脚の軸上に配置
- カメラのシャッター・ボタンは三脚の軸と一致させる
- 蛍光ランプは反射板から、ランプの直径程度の間隔で浮かせる

最初の二点は操作上のバランスをとるためです。三点目は、効率的な反射光を得るためです。

写真-2 : リング・ライトの背面



試写

写真-3は、天井灯(ディフューザー付き白熱電球)で撮影。影が出るとともに、白熱電球の色がかぶっています。赤色を補正すれば、写真-4よりも使えます。

写真-4は、カメラ内蔵のフラッシュで撮影。画面右上からのフラッシュ光で強い影ができるとともに、面に直角に当たったフラッシュ光で、アルミ板の白は完全に飛んでいます。フラッシュにディフューザーをつけると良いかもしれません。

写真-5は、今回作成のリング・ライトで撮影。特に強い影もなく、また白飛びも発生していません。部品の文字も読みとれます。所期の目的を達成することができました。

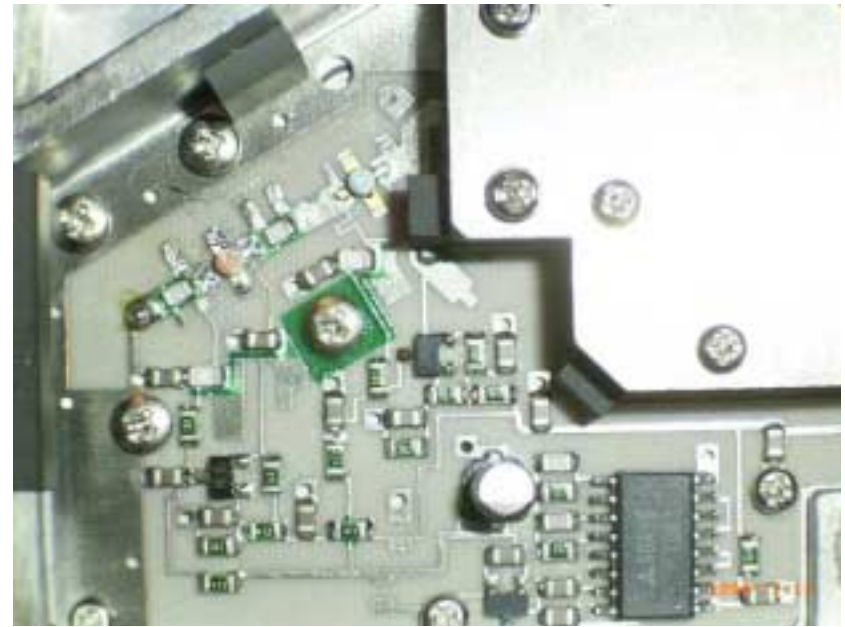


写真-4 : カメラ内蔵フラッシュ



写真-3 : 天井灯のみ



写真-5 : リング・ライト